



幻想の響宴【5/4】



備中国分寺五重塔の初層を公開【4/29】



お茶席でまったり【4/29】



こいのぼりのデコ巻き寿司に挑戦【4/29】



レンゲ摘みを楽しむ【4/29】



ステージ周辺は大勢の観客でにぎわう【4/29】

吉備路の春を満喫

吉備路れんげウイーク

4月29日から5月5日までの吉備路れんげウイーク期間中、備中国分寺一帯で多彩な催しが開催され、大勢の家族連れらでにぎわいました。4月29日に開催されたメインイベント「吉備路れんげまつり」には約4万人が来場。和太鼓や、郷土芸能などステージのほか、数多くの屋台が出店し、訪れた人は吉備路の春を満喫しました。

また、晴れの国おかやまデスティネーションキャンペーンに合わせて、井山宝福寺や備中国分寺などの観光地を巡る周遊バス・シャトルタクシーも登場。ゴールデンウイーク期間中の吉備路は観光客でにぎわいました。

●ミニフォト

難波さん 100歳おめでとう



家族に祝福される難波さん

難波アヤメさん（美袋）が4月27日に満100歳の誕生日を迎えられるのを前に26日、市から記念品が贈られました。手紙を書くことが日課だという難波さん。長寿の秘訣は、好き嫌いなく何でも食べることだそうです。

メーデーで盛り上がる



バルーンアートで大盛り上がり

吉備路ふれあいメーデーが5月1日、カミガツジプラザで開かれました。市内約20の労働組合による出店やコンサート、バルーンアート、お楽しみ抽選会などがあり、訪れた家族連れらの楽しそうな声が会場に響いていました。

美しい音色を届ける



息のあった演奏で観客を魅了する

総社吹奏楽団の演奏会 Viva Brass が4月17日、市民会館で開催され、ホールに広がる吹奏楽の美しい音色で約700人の観客を魅了しました。また、会場では熊本地震の募金も行われ、約12万円が市に寄付されました。

総社の偉人高木聖鶴さんに続け

高木聖鶴児童生徒競書大会

市内在住の書家、高木聖鶴（本名：郁太）さんが平成25年に文化勲章を受章したことを記念して始まった高木聖鶴児童生徒競書大会が5月8日、常盤小学校で開催されました。

参加したのは市内在住の小・中学生約150人。体育館では張り詰めた空気の中、「壮大な城壁」（中学3年）や「五重の塔」（小学6年）など、学年ごとに与えられた課題を30分の制限時間内に書き上げ、納得のいく1点を提出しました。

審査の結果、高木聖鶴賞、市長賞、教育長賞にそれぞれ4作品と特選27作品の計39点選ばれました。5月15日には総社吉備路文化館で表彰式が行われ、受賞者に賞状と記念品が贈られました。

主な受賞者は次のとおりです。【敬称略】

【高木聖鶴賞】

小鍛治菜子（総社中央小1年）、川西杏咲（常盤小2年）、平松瑞菜（総社西小6年）、柴田陽花里（総社東中2年）

【市長賞】

横田愛奈（常盤小4年）、新庄桜和（清音小5年）、櫻本ほのか（総社小6年）、片山芽生（総社西中1年）

【教育長賞】

櫻本ゆめの（総社小3年）、前田真緒（阿曾小4年）、佐田野野菜（新本小5年）、大杉洗人（岡山大安寺中等教育学校1年）



集中して筆を運ぶ参加者



高木聖鶴賞、市長賞、教育長賞、特選の受賞者



交通安全の願いを込めて



折鶴を渡す総社高校の生徒

春の交通安全運動期間中の4月15日、ドライバーに注意を呼びかける折鶴作戦が総社高校前の市役所通りで行われました。折鶴は総社高校家庭クラブ員80人が作成したもの。参加者は、「安全運転で」と折鶴を手渡していました。

本を身近に感じて



パネルシアターにくぎ付け

子どもに本に親んでもらうと、しよかんまつりが5月7日、市図書館で開かれました。大型紙芝居やエプロンシアター、パネルシアターなどに訪れた約50人の子どもは興味津々。お話の世界に引き込まれていました。

被災地に思いを寄せて



フィナーレは「365日の紙飛行機」

熊本地震被災地支援チャリティーコンサートが5月15日、市民会館で開催されました。15組が出演。最後は全員で「365日の紙飛行機」を歌い被災地に思いを寄せていました。入場料と募金は全額被災地支援に役立てられます。